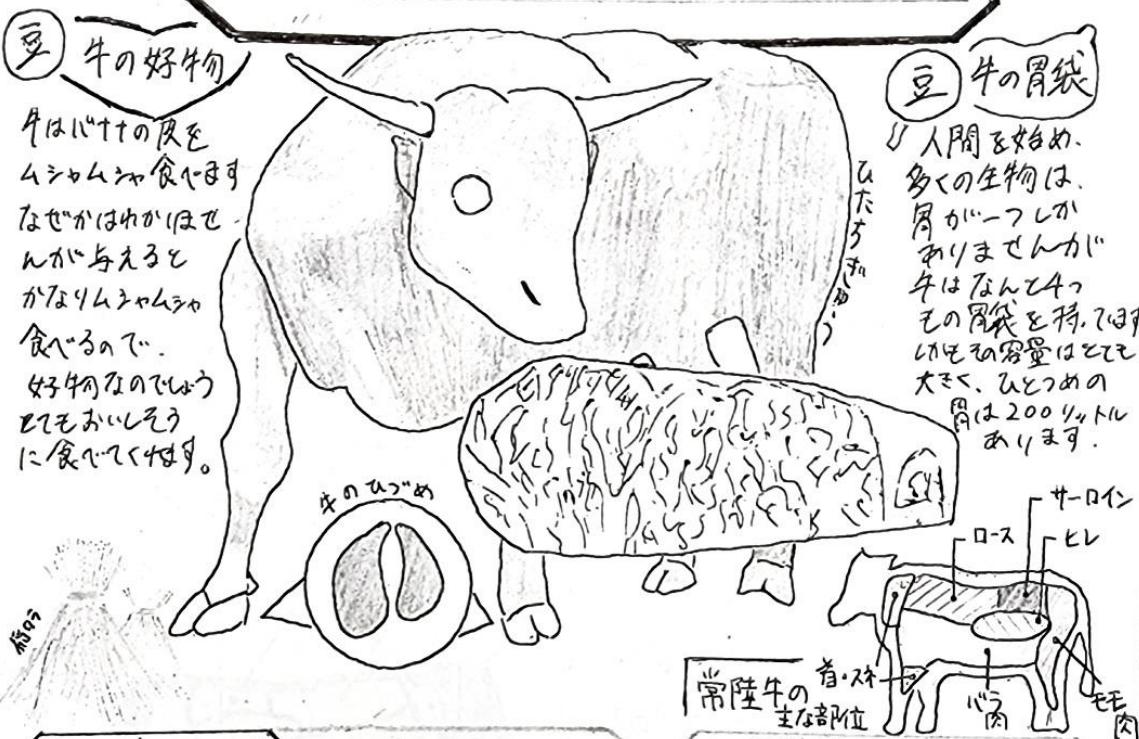


項目番号	学習項目	
30	常陸牛	2年A組8 作成者

# 茨城を代表する黒和毛牛 常陸牛

今から遡ること約180年前、天保3年に徳川斉昭公が現式の水戸市内に桜野牧を設け、そこで牛を飼育したところが始まります。時代を重ねると共に生産者も精進し努力を重ね、品質の高い黒和毛牛が生産されるようになりました。昭和51年に「常陸牛」が誕生しました。



**飼育環境**

牛がいるところは、健康でしっかりした骨骼を持った牛になるように、自然の中で育て、大きさや色もろこし、大豆などのミネラル豊富で食料を始め良質な乾牧草と稻わらを充分食べて、大きくなると管理の徹底した牛舎で毎日しっかりと配って飼育します。

よくお肉の売り場で見かける「松阪牛」や「佐賀牛」は「ブランド牛」でも、常陸牛も「ブランド牛」の一つで、特定の産地名が冠された牛肉です。ころけるような食感で、味もとてもおいしいようです。

	5	4	3	2	1
A	常陸牛	A3	A2	A1	
B	B3	B3	B2	B1	
C	C5	C4	C3	C2	C1